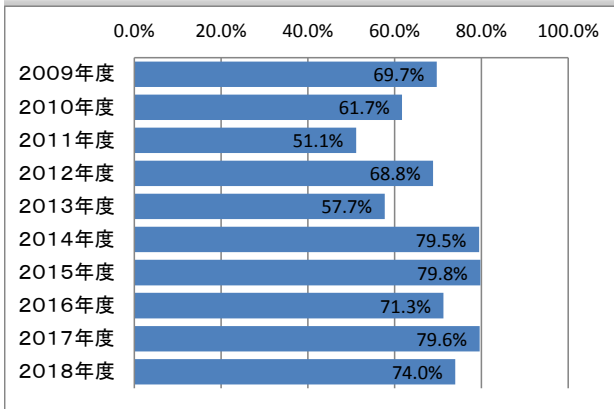


## 26. エダラボン使用率

■計算方法 エダラボン使用症例数 / 脳梗塞症例数  
 ■DPCデータ分析システム「EVE」より算出

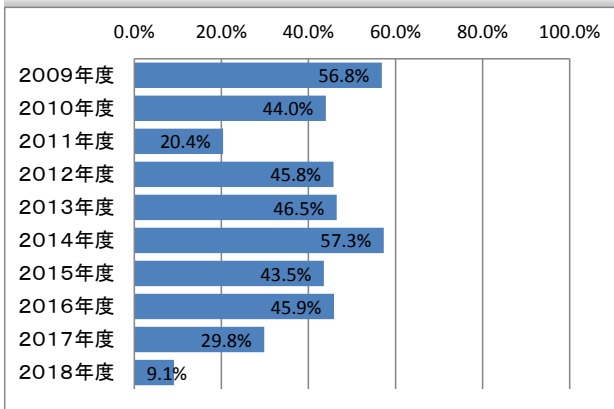


	エダラボン使用率	エダラボン使用症例	脳梗塞症例数
2009年度	69.7%	138	198
2010年度	61.7%	145	235
2011年度	51.1%	112	219
2012年度	68.8%	148	215
2013年度	57.7%	131	227
2014年度	79.5%	174	219
2015年度	79.8%	213	267
2016年度	71.3%	176	247
2017年度	79.6%	199	250
2018年度	74.0%	179	242

定義)MDC6=010060の症例におけるエダラボンの使用率  
 フリーラジカルによる細胞障害から脳を保護し、梗塞巣が拡大しないようにする薬です。脳梗塞急性期に使用されます。

## 27. カルペリチド(ハンプ)使用率

■計算方法 カルペリチド使用症例数 / 心不全症例数  
 ■DPCデータ分析システム「EVE」より算出



	カルペリチド使用率	カルペリチド使用症例数	心不全症例数
2009年度	56.8%	25	44
2010年度	44.0%	22	50
2011年度	20.4%	10	49
2012年度	45.8%	27	59
2013年度	46.5%	33	71
2014年度	57.3%	51	89
2015年度	43.5%	47	108
2016年度	45.9%	50	109
2017年度	29.8%	17	57
2018年度	9.1%	3	33

定義)MDC6=050130の症例におけるカルペリチドの使用率  
 心房性ナトリウム利尿ペプチド (ANP) は、心房から分泌される循環調節因子です。遺伝子組換えANP製剤は、利尿作用、血管拡張作用により心負荷軽減に働く心不全治療薬です。